

移行支援通信

えびな支援学校

移行支援係

NO.1

平成29年7月19日(水)

えびな支援学校では、卒業後の自立と社会参加に向けて日々の学習や課題に取り組んでいます。今回は、高等部の実習について紹介します。

実習(正しくは、「産業現場等における実習」といいます)では、卒業後の社会生活に向けて、2週間の特別日課を過ごします。本校グランドデザイン「地域で豊かに暮らし、はたらく」ことを見据え、一人ひとりの課題や仕事(作業)に取り組めます。「はたらく」とは、お金を稼ぐだけでなく、地域に出かける、仲間や大人と関わる、地域資源を活用する等、生徒が「今」持っている力を存分に発揮し、周りに関わり生き、社会に貢献することです。

校内で行う校内実習と、学校の外で行う現場実習に、生徒たちは一生懸命取り組みました。

【現場実習】

高等部2年生(A部門、B部門)の内、23名の生徒が現場実習に取り組みました。実習先は表をご覧ください。今回の現場実習は、自力通勤等の条件を満たした生徒が対象でしたが、秋の実習では、保護者の送迎で通う生徒も含め、2年生全員が現場実習に取り組む予定です。

一般企業 20名(2名受け入れの企業が1社)			
実習先名称	所在地	業種	実習内容
(株)成城石井 本厚木ミロード店	厚木市	小売	商品の陳列、品出し
(株)ロピア 厚木南ビバホーム店	厚木市	小売	商品の陳列、品出し
サミットストア 綾瀬タウンヒルズ店	綾瀬市	小売	青果の袋詰め、陳列
東急ハンズ 町田店	町田市	小売	商品の陳列、品出し、バックヤード作業
くら寿司 海老名店	海老名市	外食産業	食器洗浄、フロア清掃
おふろの王様	海老名市	スーパー銭湯	レストランでの下膳、食器洗浄、フロア清掃
松屋 本厚木店	厚木市	外食産業	食器洗浄
はーべすと 小田急町田店	町田市	外食産業	調理補助、食器洗浄
デニーズ 厚木店	厚木市	外食産業	食器洗浄、調理補助
カネ美食品(株) 横浜工場	厚木市	食品工場	番重洗浄
東洋レコーディング(株)	座間市	製造	CD DVDのパッケージ作業
(株)サンキ	厚木市	製造	キャラクター製品の製造補助
(株)イワセ	綾瀬市	製造	自動車部品等の検品
マルマン(株) 相模工場	座間市	製造	文具製造補助
アツギ(株)	海老名市	製造	工場内清掃、メール便仕分け
高齢者生活支援施設 けいわ荘	厚木市	老人ホーム	施設内の清掃、クリーニング
認定こども園モモ	相模原市	保育園	保育補助、清掃
海老名市立中央図書館(ツタヤ)	海老名市	図書館	本の配架、書架整理
シモハナ物流(株) 厚木センター	厚木市	物流	商品の出荷準備、仕分け

福祉事業所 (3名)			
希望の家 エスポワールパーネ	綾瀬市	就労継続B	パン製造
就労移行支援事業所 アシスト	海老名市	就労移行	クリーニングのたたみ作業
はあとすまいる	海老名市	就労継続B	パン製造、販売補助

特例子会社 (2名・1名・2名で計5名)			
(株)東急ウィル	横浜市	清掃	駅舎等の清掃
(株)ニッパツ・ハーモニー 厚木	愛川町	清掃	工場内清掃
(株)アマダプランテック	伊勢原市	清掃	工場内清掃、社内メール便集配

※特例子会社での実習は、県の教育委員会の事業で、「職業能力評価実習=職能実習」と言います。

現場実習は、2年生の生徒たちにとって初めての経験でした。慣れないルートでバス、電車通勤をし、知らない人ばかりの環境で一日6時間前後働きました。実習期間は2週間なので、不安と緊張はとても大きかったと思います。

体調を崩すなどのミニアクシデントはありましたが、生徒たちは一人も脱落することなく通いきりました。最後に評価票(SABCDの5段階評価)を受け取るのですが、2週間の頑張りが反映され、今後の励みになるものでした。どの生徒も「また現場実習をやりたい、チャレンジしたい」と話し、自信をつけて帰ってきたと感じます。

【校内実習】

校内実習では、生徒の課題に応じて、様々なグループ(班)に分かれて実習期間を過ごしました。

どの生徒にも共通して言えることは、卒業後を見据え、「今」の課題にしっかりと向き合うこと。生徒たちは2週間の実習を一生懸命取り組みました。

解体作業班(A、B、C班)

解体作業班(A～C班)では、企業から仕事を請け負い、取り組み、完成させて納めます(受注といいます)。生徒によって仕事内容は様々ですが、このグループでは、「仕事ができるようになること」ではなく、仕事を通して「コミュニケーションスキル(挨拶や言葉遣い等)や仲間との協調、マナーやルール(時間までに準備すること、身だしなみ、職場の決まり)」、「仕事への責任感」「職業生活への見通し」等を学びます。

現場実習では、職場で一人で過ごします。「どうやって挨拶したら良いんだろう?」「職場の人と協力するってどういうこと?」「ルールを守るって?」「長時間仕事するのは大変なのかな?できるかな?」…など、生徒の不安はたくさんありますが、「校内実習でできたこと、褒められたこと、注意されたこと、気を付けたことをそのままやれば大丈夫!」と思えるよう、生徒達は一生懸命取り組みました。

【A班】アラミド繊維の解体作業を行いました。この繊維は、金属や刃物に強い繊維で、自動車工場で使われたり、防弾チョッキになったりします。不良品として出された製品をばらして、中からアラミド以外の繊維を取り出す作業です。黙々と集中して作業に取り組む様子が見られました。



【B班】ポケットティッシュにチラシを入れる作業と、ツタヤなどで使われているレンタルDVDケースをリサイクルする作業を行いました。ケースの透明なフィルムや粘着シールをはがす作業に多くの生徒が取り組みました。作業の終了報告をしっかりとやりながら、出来高を意識して、集中して作業に取り組みました。



【C班】電子機器の解体作業に取り組みました。ドライバー等の工具を使い、指定された方法で解体を進めました。基本的には立作業で行い、ほうれんそう(報告・連絡・相談)等のソーシャルスキルも意識しました。普段の授業と違い、良い緊張感を持って取り組むことができました。



日中活動開発センター「みい〜と」

「みい〜と」は、卒業後を見据えた「社会参加」を体験的に学ぶ場です。

生徒によって、将来に向けた課題は様々です。ある生徒にとっては、自分の気持ちを周りに伝えることや関わるのが課題かもしれないし、自分のできることを実感すること・自信をつけることが課題かもしれません。またある生徒は気持ちが落ち着くこと・楽しいことを見つけることが課題かもしれないし、バス利用や買い物など、地域資源の利用が課題かもしれません。

「みい〜と」では、それら生徒一人ひとりの社会参加に向けた「今の課題」に向き合い、2週間の活動プログラムを作り、取り組みました。「今の課題」が違うので、活動プログラムも一人ひとりのオーダーメイドです。生徒の力が発揮できる作業に取り組んだり、卒後に大切な余暇的な活動を体験したり、学校の外で買い物に出かけたりしました。

どの生徒のどんな活動も、生徒たちは今持てる力を十分に発揮し取り組んでいました。



路線バスで街に出て、様々な活動をする体験学習のプログラム



それぞれの個に合わせたワークに取り組むプログラム



それぞれの自立活動の課題やアクティビティに取り組むプログラム

今後も、このような形で移行支援に関わる情報を定期的に発信してしていきたいと思っております。こんな内容も取り上げて欲しいという要望がございましたら、担任を通じて移行支援担当までお知らせください。